

政策シート

(政策名) 快適な道路・川づくり
(予算費目名) 道路費

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な生活基盤づくり

◇政策の概要

・市民が安全・安心に生活できるように道路が適正かつ持続的に保全され、交通事故や災害が少ない都市を実現する。

- ①道路・河川施設等の適切な維持管理や長寿命化の推進
- ②身近な生活道路の安全性向上
- ③道路ネットワークの整備・強化

◇政策のコスト（千円）

		H27
年関係費(A+B+C)	予算	16,305,491
	決算	
	事業費 (A)	16,173,991
	人件費 (B)	131,500
	報酬 (C)	

◇政策の指標

政策指標（単位）	単位	H36 目標値	年度	H27
現道改良の整備率	%	60.0	目標	59.1
			実績	
橋梁長寿命化修繕計画に基づく整備率	%	100	目標	30
			実績	
小規模要望事業の実施率	%	100	目標	100
			実績	

◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)	
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)		非常勤
1	道路関係調査事業		○		109,500	82,400	3.5		1.0		
2	道路施設管理事業				761,269	751,469	1.2			0.5	
3	道路維持修繕事業		○		6,488,691	6,478,891	1.2			0.5	
4	道路防災事業				423,400	415,000	1.2				
5	橋りょう耐震補強事業	○	○		1,132,400	1,124,000	1.2				
6	市道整備事業		○		865,255	845,955	2.5	0.5			
7	国県道整備事業		○		1,543,830	1,531,530	1.5	0.5			
8	道路維持整備推進事業				42,313	35,313	1.0				
9	スマートインターチェンジ関連整備事業	○	○		1,421,734	1,413,334	1.2				
10	三遠南信自動車道関連整備事業	○	○		579,900	575,000	0.7				
11	過疎対策道路整備事業		○		105,600	100,000	0.8				
12	国直轄道路事業(負担金)				2,764,500	2,761,000	0.5				
13	道路維持整備運営経費(一般諸経費のみ)				67,099	60,099	1.0				
計					16,305,491	16,173,991	17.5	1.0	1.0	1.0	0

※人工単価(千円) 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 道路関係調査事業

◇事業目的・事業対象

安全で安心な道路空間の構築や維持管理コストの縮減・平準化を実現するために、現状の把握について調査・検討を行い、具体的な対策案を策定する。

◇事業の概要

【道路交通調査事業】

道路及び道路交通の現状を把握して、その実態と問題点を把握するために実施し、調査範囲は浜松環状線内渋滞状況調査、新東名開通の効果検証を行なう。

【次期道づくり計画の策定】

次期みちづくり計画では、前回の成果指標の達成状況や道路利用者のニーズ等の整理を行い、平成29年度からの10カ年の道路整備の基本理念・基本方針・目標等を策定する。

【舗装長寿命化対策事業】

国県道・市道の路面性状調査を行い、予防保全型の舗装修繕計画の策定する。

【交通事故データ分析事業】

交通事故の科学的分析に基づく対策に必要な情報基盤整備を行うことで、最新データに基づく交通事故対策の立案、事前・事後評価を行い、効果的かつ効率的な交通安全施設等整備事業の実施に反映させる。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
H20	-	一般会計	自治事務(法令義務)		-	○

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	82,400
	決算	
	国・県支出	4,700
	市債	
	その他	
	一般財源	77,700
	一般会計繰入金	
	人件費(報酬等) (千円)	
	人件費 (千円)	27,100
人工	正規	3.5
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	1.0
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
舗装路面性状調査		-			-
浜松市交通事故データ整理・分析業務(指標は年度単位)		100			100

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 道路施設管理事業

◇事業目的・事業対象

道路や道路付属物、地下道等、道路施設の管理を行い、安全で安心な通行を確保する。

◇事業の概要

道路、地下道、トンネル等の道路施設の管理を行い、通行の安全性、快適性を確保する。

- ・照明灯電気料、水道料等
- ・電気及び防災に係る設備保守点検業務委託、清掃業務委託

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
S27	—	一般会計	自治事務(法令義務)	道路法第42条	—	—

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	751,469
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	751,469
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		9,800
人工	正規	1.2
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	0.5

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
道路施設の適切な維持管理		—			—

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 道路維持修繕事業

◇事業目的・事業対象

道路の安全で快適な通行のため、適正で持続的な維持修繕を行う。

◇事業の概要

道路施設の安全で安心な通行を確保するため、橋梁、舗装、トンネル等道路インフラ全般の維持修繕等を行う。また、道路の危険箇所を事前に点検し、災害発生を未然に防止するため、点検業務や道路パトロール等を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
S27	—	一般会計	自治事務(法令義務)	道路法第42条	—	○

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	6,478,891
	決算	
	国・県支出	935,000
	市債	727,200
	その他	16,200
	一般財源	4,800,491
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		9,800
人工	正規	1.2
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	0.5

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
小規模事業要望の実施率		100%			100%

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 道路防災事業

◇事業目的・事業対象

道路の安全で安心な通行を図り、災害発生を未然に防ぐため、道路防災工事等を計画的に実施する。

◇事業の概要

国県市道における、異常気象時等による災害発生を未然に防ぐため、道路防災工事を実施する。

- ・国交付金事業(国土交通省所管の交付金事業として施行している道路防災事業)
- ・市単独事業(市単独事業として施行している道路防災事業)

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
S27	—	一般会計	自治事務(法令義務)	道路法第42条	—	—

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	415,000
	決算	
	国・県支出	85,000
	市債	80,700
	その他	
	一般財源	249,300
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		8,400
人工	正規	1.2
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 橋りょう耐震補強事業

◇事業目的・事業対象

予想される南海トラフ地震など、大規模災害発生時の緊急輸送道路等を確保し、早期復旧と市民生活を守るため、橋梁の耐震補強対策工事等を計画的に実施する。

◇事業の概要

【重点戦略項目No.92】

橋りょうの耐震性能の向上を図るため、耐震補強対策等を計画的に行う。

- ・国交付金事業(国土交通省所管の国庫補助事業として施行している橋りょう耐震補強事業)
- ・市単独事業(市単独事業として施行している橋りょう耐震補強事業)

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
H8	—	一般会計	自治事務(法令義務)	道路法第42条	○	○

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	1,124,000
	決算	
	国・県支出	471,500
	市債	447,500
	その他	
	一般財源	205,000
	一般会計繰入金	
	人件費(報酬等) (千円)	
	人件費 (千円)	8,400
人工	正規	1.2
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	


◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
緊急輸送路上の橋長15m以上の橋梁の耐震化率(%) (計画104橋)	92	83 (86橋)		100 (104橋)	100 (104橋)
橋りょうの耐震化率(計画47橋)					

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

補助シート (事業名) 橋りょう耐震補強事業

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
92				

事業シート (事業名) 市道整備事業

◇事業目的・事業対象

東名高速道路など恵まれた交通環境を活かしたバランスの良い道路整備を促進するため、幹線道路を軸に地域の特性を配慮した補助幹線として、利用度が高く投資効果のある路線から重点的に整備を進め、安全で快適な生活環境を目指す。

◇事業の概要

市道整備事業	<ul style="list-style-type: none"> 国交付金事業 <ul style="list-style-type: none"> 社会資本整備総合交付金事業 道路改良(実施中) 1路線
市道整備事業	<ul style="list-style-type: none"> 国交付金事業 <ul style="list-style-type: none"> 道整備交付金事業 道路改良(実施中) 9路線 単独事業

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
H19	-	一般会計	自治事務(法令義務)	道路法第17条	-	○

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	845,955
	決算	
	国・県支出	190,250
	市債	148,200
	その他	
	一般財源	507,505
	一般会計繰入金	
	人件費(報酬等) (千円)	
	人件費 (千円)	19,300
人工	正規	2.5
	再任用(h31)	0.5
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
道路改良率		68.6			69.7

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 国県道整備事業

◇事業目的・事業対象

政令指定都市移行後、県より移譲された国県道について、円滑な自動車交通ネットワークを構築するために道路整備を推進する。

◇事業の概要

国道整備事業

- ・国交付金事業
 - 社会資本整備総合交付金事業
 - 道路改良(実施中) 4路線 10工区
- ・市単独事業

 県道整備事業

- ・国交付金事業
 - 社会資本整備総合交付金事業
 - 道路改良(実施中) 5路線 6工区
- ・市単独事業

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
H19	-	一般会計	自治事務(法令義務)	道路法第17条	-	○

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	1,531,530
	決算	
	国・県支出	603,700
	市債	396,000
	その他	
	一般財源	531,830
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		12,300
人工	正規	1.5
	再任用(h31)	0.5
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
道路改良率		68.6			69.7

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

社会資本整備総合交付金事業等と連携をしながら、早期に効果が発現できるよう整備を促進する。

※ 道路改良とは一般国道や県道の車道幅を5.5m以上に拡幅整備する事で、車両のすれ違いを円滑にし、自動車交通の安全を確保する。

(出典:静岡県道路現況調査「凡例」参照)

■ 道路改良率=改良済延長(5.5m以上)÷道路実延長

事業シート (事業名) 道路維持整備推進事業

◇事業目的・事業対象

道路維持事業並びに道路整備事業に係る国庫補助事業の運営に必要な経費の管理。

◇事業の概要

道路維持事業並びに道路整備事業に係る国庫補助事業を執行するために必要な経費の適正な予算執行を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
H22	-	一般会計	自治事務(その他)		-	-

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	35,313
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	35,313
	一般会計繰入金	
	人件費(報酬等) (千円)	
	人件費 (千円)	7,000
人工	正規	1.0
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) スマートインターチェンジ関連整備事業

◇事業目的・事業対象

東名高速道路の三方原パーキングエリア及び館山寺バス停にスマートインターチェンジを設置することにより、新たな広域交通の拠点を形成し、高速道路と一般道路のネットワークを強化することで、利便性の向上、産業・経済の活性化、観光交流を促進する。

◇事業の概要

【重点戦略項目No.83】
三方原及び館山寺スマートインターチェンジのアクセス道路となる有玉南初生線外6線の交差点改良・道路拡幅整備等を行います。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
H25	H28	一般会計	自治事務(法令義務)		○	○

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	1,413,334
	決算	
	国・県支出	679,500
	市債	528,400
	その他	
	一般財源	205,434
	一般会計繰入金	
	人件費(報酬等) (千円)	
	人件費 (千円)	8,400
人工	正規	1.2
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
事業費ベースによる進捗率(%)	83	52		100	100

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

スマートインターチェンジへのアクセス道路整備等を行い、市民や観光客の移動に対する利便性の向上を図る。

補助シート (事業名) スマートインターチェンジ関連整備事業

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
83	アクセス道路整備 ・用地、物件補償 ・道路整備工事 委託工事 ・スマートIC本体	アクセス道路整備 ・用地、物件補償 ・道路整備工事 委託工事 ・スマートIC本体 ●本体供用開始		

事業シート (事業名) 三遠南信自動車道関連整備事業

◇事業目的・事業対象

三遠南信地域への高速サービスの提供、災害に強い道路網の構築により、地域医療サービスの向上等、安全で快適な生活環境を確保するとともに、三遠南信地域間の交流促進や連携強化による地域の活性化を目指す。

◇事業の概要

【重点戦略項目No.83】

・平成26年3月に現道改良区間と位置付けられた国道152号(水窪北IC～水窪IC)の整備を進め、青崩峠道路等の高規格幹線道路を繋ぐ区間として直轄事業と同調した供用を目指す。
 ・平成30年度の佐久間道路((仮)佐久間IC～(仮)東栄IC)の供用目標に合わせ、(仮)佐久間IC及び(仮)浦川ICのアクセスルートの改良及び防災工事を実施する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
H27	H34	一般会計	自治事務(法令義務)		○	○

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	575,000
	決算	
	国・県支出	168,500
	市債	150,800
	その他	
	一般財源	255,700
	一般会計繰入金	
	人件費(報酬等) (千円)	
	人件費 (千円)	4,900
人工	正規	0.7
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
現道改良区間整備率(%)		10			100
佐久間道路ICアクセス整備率(%)	83	20		100	100

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

補助シート (事業名) 三遠南信自動車道関連整備事業

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
	<現道改良区間整備> 道路・構造物設計 用地・物件調査	道路・構造物設計 用地・物件調査 用地買収 物件補償	改良工事着手 用地買収 物件補償	工事施工 用地買収 物件補償
83	<ICアクセス整備> 工事施工 設計 用地買収 物件補償	工事施工 設計 用地買収 物件補償	工事施工 設計 用地買収 物件補償	工事施工 供用

事業シート (事業名) 過疎対策道路整備事業

◇事業目的・事業対象

浜松市過疎地域自立促進計画に基づき、生活支援の一助となるよう過疎地域を対象とした道路整備事業の推進を図る。

◇事業の概要

市道単独費
 道路改良 1路線
 防災工事 1路線
 橋梁修繕 3路線
 舗装修繕 3路線

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
H23	H27	一般会計	自治事務(法令義務)	過疎地域自立促進特別措置法	—	○

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	100,000
	決算	
	国・県支出	
	市債	100,000
	その他	
	一般財源	
	一般会計繰入金	
	人件費(報酬等) (千円)	
	人件費 (千円)	5,600
人工	正規	0.8
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
完了路線数		12			

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

地域の喫緊な要望が高い路線を抛出し、国交付金事業等の要件を満たさない箇所に対し、緊急性や必要性等を客観的に評価し、整備を行う。
 過疎地域において過疎地域自立促進特別措置法に位置付けられた「浜松市の過疎地域自主促進計画」に基づき整備を推進する。

事業シート (事業名) 国直轄道路事業(負担金)

◇事業目的・事業対象

国土交通省直轄事業として行う国道整備事業への負担金

◇事業の概要

道路法第50条の規定により、政令都市移行に伴い、国直轄事業の事業費負担割合に応じた事業費を市が負担する。

- ①国道474号
 - 三遠・佐久間道路地域連携推進事業
 - 青崩峠道路地域連携推進事業
- ②国道1号
 - 維持管理(防護柵・道路標識・区画線・情報提供機器)

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
H19	-	一般会計	自治事務(法令義務)	道路法第50条	-	-

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	2,761,000
	決算	
	国・県支出	
	市債	2,484,900
	その他	
	一般財源	276,100
	一般会計繰入金	
	人件費(報酬等) (千円)	
	人件費 (千円)	3,500
人工	正規	0.5
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 道路維持整備運営経費(一般諸経費のみ)

◇事業目的・事業対象

◇事業の概要

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
						-

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	60,099
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	60,099
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		7,000
人工	正規	1.0
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

政策シート

(政策名) 快適な道路・川づくり
(予算費目名) 街路事業費

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な生活基盤づくり

◇政策の概要

・都市計画道路の整備を進めることにより、市街地における道路ネットワークを構築し、市民が安全で利便性が高く快適に暮らしやすいまちづくりを実現する。

◇政策のコスト（千円）

		H27
年関係費(A+B+C)	予算	2,169,760
	決算	
	事業費 (A)	2,138,260
	人件費 (B)	31,500
	報酬 (C)	

◇政策の指標

政策指標（単位）	単位	H36 目標値	年度	H27
都市計画道路の整備率	%	69.8	目標	68.2
			実績	
天竜川駅周辺整備事業 事業費ベースの進捗率	%	100	目標	22.8
			実績	
			目標	
			実績	

◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	都市計画道路整備事業	○	○		1,446,701	1,432,701	2.0				
2	街路整備推進事業				17,700	14,200	0.5				
3	天竜川駅周辺整備事業	○	○		694,394	683,894	1.5				
4	街路事業運営経費(一般諸経費のみ)				10,965	7,465	0.5				
計					2,169,760	2,138,260	4.5	0.0	0.0	0.0	0

※人工単価(千円) 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 都市計画道路整備事業

◇事業目的・事業対象

都市圏主要幹線道路としての都市計画道路の整備を進め、都市内交通を効率的に処理し、都市部と周辺地域の道路ネットワークとしての連続性を確保することにより、市民生活の快適性を向上させる。

◇事業の概要

【重点戦略項目No.82】

【国交付金事業】

・国土交通省所管事業の所管の社会資本整備総合交付金及び防災・安全交付金を活用し、事業のスケジュールを明確にした上で、街路事業の推進を図ります。
 ・(都)有玉南中田島線外5路線8工区(計9工区)において、選択と集中を図った上で、用地買収・物件補償及び工事を実施し、事業の進捗を図ります。

【市単独事業】

・補助金(交付金)事業を補完するため、関連した路線(箇所)の整備を行います。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
H19	-	一般会計	自治事務(その他)		○	○

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	1,432,701
	決算	
	国・県支出	702,350
	市債	545,300
	その他	50
	一般財源	185,001
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		14,000
人工	正規	2.0
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
整備率(%)	82	61.3		61.6	62.2

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

補助シート (事業名) 都市計画道路整備事業

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
82	<p>現在、事業認可を受けている事業を継続して整備していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用地買収 ・物件移転補償 ・道路改良工事 	<p>現在、事業認可を受けている事業を継続して整備していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用地買収 ・物件移転補償 ・道路改良工事 	<p>現在、事業認可を受けている事業を継続して整備していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用地買収 ・物件移転補償 ・道路改良工事 	<p>現在、事業認可を受けている事業を継続して整備していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用地買収 ・物件移転補償 ・道路改良工事

事業シート (事業名) 街路整備推進事業

◇事業目的・事業対象

街路整備事業に必要な登記事務等を実施し円滑な事業進捗を図る。

◇事業の概要

街路事業に係る国庫補助事業を執行するために必要な経費の適正な予算執行を行う。

消耗品 : 収入印紙代

手数料 : 不動産鑑定手数料

登記事務 : 所有権移転・土地分筆登記”

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
H22	-	一般会計	自治事務(その他)		-	-

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	14,200
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	14,200
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		3,500
人工	正規	0.5
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 天竜川駅周辺整備事業

◇事業目的・事業対象

JR東海道本線天竜川駅に自由通路をはじめとする駅周辺整備やアクセス道路を整備し、公共交通利用の交通結節点機能の向上を図ると共に、周辺地域の利便性を高め、駅を中心とした南北交流の架け橋となるよう、暮らしやすい地区環境を図る。

◇事業の概要

【重点戦略項目No.85】

JR東海道本線天竜川駅の橋上化と南北自由通路の新設及び駅前広場の整備等を進めていく。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
H19	H30	一般会計	自治事務(その他)		○	○

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	683,894
	決算	
	国・県支出	359,150
	市債	279,000
	その他	
	一般財源	45,744
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		10,500
人工	正規	1.5
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
事業費ベースによる進捗率(%)	85	22.8		100	100

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

補助シート (事業名) 天竜川駅周辺整備事業

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
85	仮駅舎建築	自由通路築造工事 橋上駅舎建築工事	自由通路築造工事 橋上駅舎建築工事 仮駅舎解体 ●供用開始	南北駅前広場築造工事 ●供用開始

事業シート (事業名) 街路事業運営経費(一般諸経費のみ)

◇事業目的・事業対象

◇事業の概要

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
					-	-

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	7,465
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	7,465
	一般会計繰入金	
	人件費(報酬等) (千円)	
	人件費 (千円)	3,500
人工	正規	0.5
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

政策シート (政策名) 快適な道路・河川づくり

(予算費目名) 河川費

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な生活基盤づくり

◇政策の概要

- ・ 洪水等による浸水被害の解消、軽減を図り、安全で安心なまちづくりを推進する。
- ・ 民間が行う自己防衛施設整備や浸水被害軽減施設整備を助成し生命財産の保護、都市機能の確保及び雨水の流出抑制対策を推進する。
- ・ 地方港湾浜名港の整備、維持を図り航行の安全及び地域の発展に寄与する。
- ・ 市民が川に親しめる良好な水辺空間を創造する。

◇政策のコスト (千円)

		H27
年関係費(A+B+C)	予算	1,048,043
	決算	
	事業費 (A)	1,016,163
	人件費 (B)	31,880
	報酬 (C)	

◇政策の指標

政策指標 (単位)	単位	H36 目標値	年度	H27
河川の整備率	%	83.0	目標	38.0
			実績	
			目標	
			実績	
			目標	
			実績	

◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	河川改良事業		○		1,023,700	1,002,000	3.1	0.0	0.0	0.0	0
2	(新規)浸水対策設備調査事業		○		6,400	5,000	0.2	0.0	0.0	0.0	0
3	河川運営経費(一般諸経費のみ)				17,943	9,163	1.1	0.3	0.0	0.0	0
計					1,048,043	1,016,163	4.4	0.3	0.0	0.0	0

※人工単価(千円) 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 河川改良事業

◇事業目的・事業対象

- ・洪水等による浸水被害の解消、軽減を図り、安全で安心なまちづくりを推進する。
- ・市民が川に親しめる良好な水辺空間を創造する。

◇事業の概要

◆国交付金事業

- ・防災・安全社会資本整備交付金《(二)九領川》の改良事業。

◆単独事業

- ・安全で安心なまちづくりに向けた水害の早期解消、また、治水対策だけでなく景観や生態系の保全に配慮し、自然と調和を 図った水辺環境整備を進めるための河川改修等及び総合治水対策事業。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
		一般会計	自治事務	河川法	—	○

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	1,002,000
	決算	
	国・県支出	20,000
	市債	9,000
	その他	600,000
	一般財源	373,000
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		0
人件費 (千円)		21,700
人工	正規	3.1
	再任用(h31)	0.0
	再任用(h26)	0.0
	非常勤	0.0

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
河川の整備率		38.0			83.0

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) (新規) 浸水対策設備調査事業

◇事業目的・事業対象

浸水被害の防止、軽減には、河川改修など公共が実施するハード対策による公助と併せ、浸水の防止のための止水板の設置や雨水の各戸貯留など民間で実施する自助によるハード対策を官民連携して進める必要がある。民間が行う自己防衛施設整備や浸水被害軽減施設整備を助成し生命財産の保護、都市機能の確保及び雨水の流出抑制対策を推進する。

◇事業の概要

- ・浸水対策手法の調査、研究。
- ・浸水対策施設を整備する者に対して整備費の一部を補助する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
					—	○

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	5,000
	決算	
	国・県支出	0
	市債	0
	その他	0
	一般財源	5,000
	一般会計繰入金	
	人件費(報酬等) (千円)	0
	人件費 (千円)	1,400
人工	正規	0.2
	再任用(h31)	0.0
	再任用(h26)	0.0
	非常勤	0.0

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
浸水対策設備助成制度の策定		1			

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 河川運営経費(一般諸経費のみ)

◇事業目的・事業対象

◇事業の概要

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
					-	-

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	9,163
	決算	
	国・県支出	0
	市債	0
	その他	0
	一般財源	9,163
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		0
人件費 (千円)		8,780
人工	正規	1.1
	再任用(h31)	0.3
	再任用(h26)	0.0
	非常勤	0.0

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

政策シート (政策名) 快適な道路・河川づくり

(予算費目名) 港湾費

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な生活基盤づくり

◇政策の概要

- ・ 洪水等による浸水被害の解消、軽減を図り、安全で安心なまちづくりを推進する。
- ・ 民間が行う自己防衛施設整備や浸水被害軽減施設整備を助成し生命財産の保護、都市機能の確保及び雨水の流出抑制対策を推進する。
- ・ 地方港湾浜名港の整備、維持を図り航行の安全及び地域の発展に寄与する。
- ・ 市民が川に親しめる良好な水辺空間を創造する。

◇政策のコスト (千円)

		H27
年関係費(A+B+C)	予算	29,100
	決算	
	事業費 (A)	25,600
	人件費 (B)	3,500
	報酬 (C)	

◇政策の指標

政策指標 (単位)	単位	H36 目標値	年度	H27
港湾施設(導流堤)の改良率	%	100.0	目標	10.0
			実績	
			目標	
			実績	
			目標	
			実績	

◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	港湾整備事業		○		29,100	25,600	0.5	0.0	0.0	0.0	0
計					29,100	25,600	0.5	0.0	0.0	0.0	0

※人工単価（千円） 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 港湾整備事業

◇事業目的・事業対象

地方港湾名港の整備、維持を図り船舶航行の安全及び地域の発展に寄与する。

◇事業の概要

- ◆県営事業
- ・浜名港の維持管理にかかる県事業に対する負担金。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
			自治事務	港湾法	—	○

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	25,600
	決算	
	国・県支出	0
	市債	0
	その他	0
	一般財源	25,600
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		0
人件費 (千円)		3,500
人工	正規	0.5
	再任用(h31)	0.0
	再任用(h26)	0.0
	非常勤	0.0

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
港湾施設(導流堤)の改良率		10.0			100.0

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

政策シート (政策名) 快適な道路・河川づくり

(予算費目名) 都市下水路事業費

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

- 10年後の目標
- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
 - ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な生活基盤づくり

◇政策の概要

・ 洪水等による浸水被害の解消、軽減を図り、安全で安心なまちづくりを推進する。
・ 民間が行う自己防衛施設整備や浸水被害軽減施設整備を助成し生命財産の保護、都市機能の確保及び雨水の流出抑制対策を推進する。
・ 地方港湾浜名港の整備、維持を図り航行の安全及び地域の発展に寄与する。
・ 市民が川に親しめる良好な水辺空間を創造する。

◇政策のコスト (千円)

		H27
年関係費(A+B+C)	予算	137,464
	決算	
	事業費 (A)	135,364
	人件費 (B)	2,100
	報酬 (C)	

◇政策の指標

政策指標 (単位)	単位	H36 目標値	年度	H27
都市下水路の整備率	%	100.0	目標	65.0
			実績	
			目標	
			実績	
			目標	
			実績	

◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	都市下水路整備事業				137,464	135,364	0.3	0.0	0.0	0.0	0
計					137,464	135,364	0.3	0.0	0.0	0.0	0

※人工単価（千円） 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 都市下水路整備事業

◇事業目的・事業対象

・集中豪雨等による市街地の浸水被害の解消、軽減を図り、安全で安心なまちづくりを推進する。

◇事業の概要

◆単独事業
 ・都市化の進展に伴う市街地の浸水被害を防ぐため、都市下水路の整備を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
昭和38年度		一般会計	自治事務	下水道法	—	—

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	135,364
	決算	
	国・県支出	0
	市債	126,300
	その他	5,000
	一般財源	4,064
	一般会計繰入金	
	人件費(報酬等) (千円)	0
	人件費 (千円)	2,100
人工	正規	0.3
	再任用(h31)	0.0
	再任用(h26)	0.0
	非常勤	0.0

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
都市下水路の整備率		65.0			100.0

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み